

契(ちぎり)通信VOL.220

2024年6月28日発行

株式会社チキリ 社長室編集

なんだ・かんだ

◆ ラークーション ◆

小中学校や高等学校の一部で、欠席扱いにならず学校を数日休める新制度『ラークーション』を昨年から導入する自治体が出て来ました。

「家族の休みに合わせて、子どもが校外学習を行える仕組みとして新たに設けます」と昨年3月に愛知県の大村知事が休暇の柔軟な取得で働き方改革を促す狙いもあって提唱しました。

続いて大分県別府市でも同月導入され始め、更に今年に入り茨城県、栃木県日光市、山口県が同様の制度を導入しています。自治体によってまちまちですが、年3~5日間企業で言う「慶弔休暇」の様に欠勤(欠席)扱いにならずに学校を休むことが出来る制度です。

「ラークーション」というのは、「学習」を意味する Learning と「休暇」を意味する Vacation を組み合わせて作った造語だそうで、子供が保護者等と共に、平日に学校以外の場でさまざまな学習活動を楽しんでもらうという意味が込められているそうです。ただ休んで遊びに行くのではなく、遊びの中に学びがなければならないということですね。

取得要件は、①保護者と一緒にいる(茨城県は高校生は保護者が居なくても良い場合がある様です。) ②体験や探求の学び・活動 この2点を満たす活動で、事前に学校に届け出ることだそうです。

愛知県が、主に中学生の保護者に今年1月に実施したアンケートでは、35%が取得したか取得予定という結果が出ています。9月から始めて約半年で、1/3が取得ということです。この結果の様でした。一方で24%は「取得したいが、仕事の都合で難しい」と回答しています。職場の理解が必要なんですね。ただ、こういうモノは「働き方改革」の様にしばらくすると定着してくると思います。

総務省の調べでは、国内では2~3人に1人が土日に働いているそうで、休みの日に子供と一緒に過ごすことが難しい家庭も多いという結果が出ています。当社も特に建設部の社員がお客様である工場が休みの日つまり土日に工事をする日が多く、この中に含まれます。振替休日を取ってもらっていますが、静岡県でもラークーションを導入してもらえば、子供と一緒に時間もっと増やせる様になると思います。

私事ですが、20年前に家族で京都旅行をした際に芭蕉が「嵯峨日記」を記したといわれている「落柿舎」へ行き、小学生の息子がそこで初めて「俳句」というものに出会いました。訳も分からず5・7・5で俳句を作ることを覚え、翌年の朝日小学生新聞の俳句に応募し賞をもらい、その後の中学校受験でも俳句の問題が出て、しっかり答えることが出来たという経験があります。これぞ「ラークーション」ですね。

ただ、良いことばかりではない様で、ラークーションによる学習の遅れは、家庭学習で補うのが基本となっていますが、実際には欠席した児童へ教師によるフォローが必要になるのは必至で、教師への負担増が懸念されています。

日教組の調査で教員の残業時間は、月に96時間20分、「過労死ライン」とされる80時間を大幅に超過しています。中学校の教員に至っては、116時間28分に及ぶそうでこの状況を改善しなければ折角の良い制度も継続が難しそうです。



■ 令和6年度安全大会 ■

6月27日に、当社の安全大会を開催いたしました。昨年度は当社において労災事故は「0」でした。本年度も気を引き締めて工事施工に当たらなければいけません。

今年度の大会は33社、37名の協力業者様にご参加を頂き、本年度の安全の重点項目を確認後、人間の本性や思い込みからの事故を解説した「信じられないヒューマンエラー」等のDVDによるセミナーを開催し、その後、今年1年間の労災(特に熱中症について)事故「0」達成を誓い閉幕しました。

梅雨入り前の18日に記録的な大雨で、静岡県内では一部損壊や浸水など住宅140棟で被害が確認されました。この内8割が私の住む沼津だつたそうです。土肥へ通じる海沿いの道でも土砂崩れがあり、当社の社員も戸田からの帰りがだいぶ遅くなりました。狩野川も水位が上がりもう少しで橋げたいっぱいままで水かさが上がるところでした。数年前の台風19号の時も水位が上がりましたが、沼津市内ではここ数年毎年の様に大雨による水害が起こっています。主に原など西部方面が毎回冠水しています。また、黄瀬川に架かる橋が流れたり川の堤防が一部決壊したりと大きな災害になっています。狩野川から直線距離で100mもない所に住んでいる私は、この川が氾濫したらと考へると怖くなります。こんな中で気象庁は21日に、東海地方が梅雨入りしたとみられると発表しました。平年より15日、昨年より23日遅い梅雨入りとなりました。今年の梅雨は短期集中型の梅雨となる見通しで、大雨に警戒しなければならないそうです。大事に至らない様に願うばかりです。

代表取締役
服部 嶽一郎

梅雨に入りました

社員ブログ

● 新島 ●

営業2課 平山功奈

ちょうど1年くらい前の話になりますが、2泊3日で新島へ観光に行ってきました。

新島は、伊豆半島から南東に位置する伊豆諸島の一つで、下田からフェリーで3~4時間かけて行くことが出来ます。

主な観光資源は、ビーチ、温泉、ガラス細工など。島面積27.54km²(長泉町より少しきらい)で、約2500人が生活しています。

夏は涼しく冬は暖かい気候が特徴で、梅雨の時期に行きましたが、風がさわやかで快適に過ごすことが出来ました。

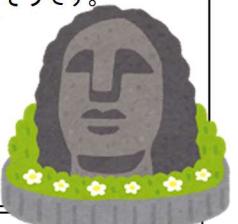
一番の見どころは、島の東側に位置する「羽伏浦海岸」で、見渡す限り続く真っ白なビーチと美しい海の景色は圧巻でした。

また、島のいたるところに、モヤイ像と呼ばれる彫刻作品があり、姿形様々なモヤイ像はどこか異国情緒があり、愛着が湧きました。

今回は6月に訪れたので観光客はまばらでしたが、7~9月には多くのサーファーが訪れ、島も賑わうそうです。

新島の隣にある式根島など、まだ行けてない場所もあるので、また近いうちに訪れたいと思いました。

長々と書いてしまいましたが、新島に興味を持っていただけたら嬉しい限りです。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思います。次回からの発送を中止させて頂きます。

株式会社チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/